

バイオセーフティ技術講習会 主任管理コース申込方法について

申込方法: 弊会 HP の申込フォームの URL にアクセスいただき、必要事項を明記の上、送信下さい。

URL: <https://www.npo-bmsa.org/バイオセーフティ-bs-技術講習会情報/バイオセーフティ-bs-技術講習会-主任管理コース/>

1. 「バイオセーフティ(BS)技術講習会情報」をクリックしてください。



2. 「バイオセーフティ(BS)技術講習会 主任管理コース」をクリックしてください。



3. 下記アクセスいただき、申込フォームにご記入下さい。

A screenshot of the application form for the '主任管理コース' (Director Management Course). The form includes the following fields: '性別' (Gender) with radio buttons for '男性' (Male) and '女性' (Female); 'ふりがな' (Kana name); '受講者名' (Participant name); '勤務先' (Employer); '所属部署' (Department); and '郵便番号' (Postal code). The BMSA logo is visible in the top left corner, and the navigation menu is at the top. The page title is '主任管理コース'.

2023 年度

バイオセーフティ技術講習会
(病原体等安全管理技術者養成講座)

主任管理コース・第 25 期

実 施 要 項

期 間:2023 年 9 月 12 日(火)～ 9 月 14 日(木), 3 日間
会 場:バムサ環文研研究棟(バムサ習志野ラボ)1、2F 実験室
(千葉県習志野市茜浜 1-12-3 TEL:047-451-2419)
イカリ消毒(株)セミナールーム(D 棟 2F)
イカリ消毒(株)カンファレンスホール (C 棟 4F)

2023 年9月

NPO 法人 バイオメディカルサイエンス研究会(バムサ、BMSA)
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 3F
TEL:03-5740-6181 FAX:03-5740-6185 E-mail:info@npo-bmsa.org

バイオセーフティ技術講習会について

＜主任管理コース・第 25 期＞

【背景と目的】

現代社会が生み出した医療公衆衛生分野における新しい問題すなわちエマージング(新興)感染症およびリエマージング(再興)感染症との戦いが続いております。

1993 年、世界保健機関(WHO)は、「人類は未だ感染症の脅威にさらされている。病原微生物の新たな挑戦に緊急に対処しなくてはならない。」との警告を発し、現在もこの警告に対応すべく感染症防止対策に世界中の努力が傾けられているところです。

因みに、2002 年に中国で発生した重症急性呼吸器症候群(SARS)、2009 年 4 月にメキシコで端を発したとされるインフルエンザ(H1N1)、そして本邦においても 2010 年の口蹄疫や 2011 年の腸管出血性大腸菌 O111 集団感染が発生するなど感染症に広く注意が傾けられています。また、2013 年には再び中国を発生源とする高病原性鳥インフルエンザ(H7N9)や、2014～2015 年は、西アフリカに端を発するエボラ熱の感染拡大があり、コンゴにおいても感染が拡大し 2019 年 7 月、WHO は緊急事態宣言を発しましたが、その後感染が拡大しました。さらに、2014 年の我国でのデング熱の広がり、韓国での MERS の広がり、2016 年のブラジルでのジカ熱の拡大等が挙げられます。中国の武漢に端を発した新型コロナウイルスによる感染症(COVID-19)の予想を超えた世界的な広がりにより、WHO はついに緊急事態宣言を発しました。事態はそれに止まらず、東京オリンピック・パラリンピックは、異例の 1 年延期後 2021 年の開催となりました。また、新たにサル痘や小児急性肝炎が流行の兆しを見せており、新興・再興感染症の脅威が、常に存在し、それに対する対策を日頃から継続して立てていなければならないことを痛感させられております。

これらの感染症対策と相俟って微生物関係施設においては病原体等の試験検査および実験研究、遺伝子組換え技術、医薬品等の開発研究・製造などの様々な分野におけるバイオセーフティを確保する必要性が常に求められております。さらに院内感染防止や災害時における病原体等の管理、そしてバイオテロなどに対するバイオセキュリティも世界的な重要課題となっております。

このように社会の脅威と不利益に直結する多岐にわたるバイオセーフティの課題に対応するためには専門的な教育と訓練が不可欠です。

本主任管理コースではこれらの諸問題を視野におき、遺伝子組換え生物実験を含めたバイオセーフティ関連業務に従事される方々を対象として、バイオセーフティに必要とされる「ソフト」と「ハード」両面の知識と技術を習得していただくことを目的とします。

【到達目標】

病原体等に関する基礎知識とその安全取り扱い技術を習得したバイオセーフティの主任管理者が備えるべきさらに幅広い知識と管理技術の維持、発展に向けて理解することを目標とします。

【講習会の形式】

本講習会は、講義と討論、実習およびケーススタディ等の形式で実施します。

【認定書の発行と認定更新研修会 制度について】

本講習会の受講修了者で「認定試験」の合格者には、当会の「認定証」(有効期間は3年)を発行します。

当会では認定有効期間中に生じた認定者からのバイオセーフティに関する諸問題について優先的に相談等に対応します。

なお、本認定有効期間は「認定更新研修会」に出席することによって 3 年毎に繰り返し更新できる制度をこれまで実施してまいりましたが、2013 年度から本研修会への出席に加え、「所定の単位」を獲得する単位取得制を併用した制度に移行することになりましたのでご了承ください。本制度の詳細は講習会当日にご説明します。

以上

2023年度 主任管理コース・第25期 実施要項

1. **コース名:** バイオセーフティ技術講習会 主任管理コース・第25期
2. **講習期間:** 2023年9月12日(火)～9月14日(木)、3日間
第1日目: 9月12日(火) 講義(座学)
第2日目: 9月13日(水) ラウンドディスカッション、ケーススタディ
第3日目: 9月14日(木) 講義、実習、デモンストレーション、認定試験
3. **会場:** ①イカリ消毒(株)セミナールーム(D棟2F)、カンファレンスホール(C棟4F)
②バムサ・環文研研究棟(バムサ習志野ラボ)
4. **対象分野:** 微生物試験検査・研究開発関係、医療・保健衛生・介護関係、医薬品製造関係、医・理化学機器関係、食品衛生関係、ビル衛生関係、医療廃棄物関係、バイオ施設・設備関係、バイオ研究開発関係、他バイオ関連分野。
5. **受講資格:** ①バイオ関連実務経験者で「基礎コース」の認定者。
②バイオ関連分野で3年以上の実務経験があり、上記認定者と同程度の知識・技術を有している方。
6. **受講料:** 1名 70,000円(消費税込)
①受講料のお支払いは8月31日(水)までにご入金下さい。
②請求書の発行については受講申込受付確認後、順次お送りします。
③受講料には資料代、実習用機材・消耗品費、昼食代等を含みますが、これらのうち不要なものがあっても受講料は同額です。
④一旦、納入された受講料は、原則として返却いたしません。
⑤万が一、認定試験で合格点に達しなかった方は再補講の受講料として5,000円を頂きます。
7. **定員:** 30名(但し、定員になり次第締切らせていただきます。HPに掲載)
8. **申込期限:** 2023年8月18日(金)
9. **申込手続:** 弊会HPの申込フォームより必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
10. **その他:** ①昼食は用意いたします。②当日持参する物は筆記用具のみをお持ちください。

以上

[事務局]

NPO法人 バイオメディカルサイエンス研究会(バムサ、BMSA)
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8-3F
TEL:03-5740-6181 FAX:03-5740-6185
E-mail: info@npo-bmsa.org (担当:高橋)

2023年度バイオセーフティ技術講習会 主任管理コース・第25期

講習会内容(予定仮題)

I. 座学 (第1日目:9月12日(火))

- * 特別講演:行政における感染症対策(病原体等の適正管理) 仮題
- * 講演:寄生動物の最近のトピックス(仮題)
- * 講義:バイオセーフティの国際的動向
- * 講義:遺伝子組換え実験とバイオセーフティ(カルタヘナ法)
- * 講義:バイオ実験研究における施設設計

II. ラウンドディスカッション(第2日目:9月13日(水)受講者による口演発表と討論)

本プログラムでは、バイオセーフティに関する施設の活動状況等について代表の方に学会形式により発表(原則)していただき、それについて受講者及び助言者を交えて意見交換を行うものです。このことにより、バイオセーフティに関する疑問あるいは問題点等について、その解決策を見出すとともに情報を共有することによってバイオセーフティの改善、啓発および発展に資することを目的とします。

なお、本プログラムは主任管理コースに特徴的なプログラムとして位置付けられているものです。

1. 目的:バイオセーフティに関する疑問や問題点の解決を図り、情報の共有化を図ることによりバイオセーフティの改善及び発展に資すること。
2. 方式:全事業所に自己紹介を1事業所あたり約3分でお願います。その後、参加事業所の中から3つの事業所にバイオセーフティに関する活動を口頭発表していただき、それについて参加者全員(助言者を含む)で討論及び意見交換を行います。
3. 発表内容:バイオセーフティに関する以下の項目を参考例として準備していただきます。
 - * バイオセーフティの活動状況(施設紹介等を含み、全項目あるいは項目を選択する。)
 - 管理組織運営体制、施設・設備、規則等、教育、創意工夫、実績など。
 - * バイオセーフティに関する疑問、問題、課題等の提起とその考察及び意見や提案など。
 - * バイオセーフティに関する情報提供、将来展望及び期待することなど。
4. 発表時間:1事業所平均3分間で自己紹介、及び指名式で選ばれた方は1事業所20分間を予定しますが、受講者数により変動する場合があります。
5. 発表方法:原則としてパワーポイントの使用としますが、印刷物の配布あるいは口頭のみでも可とします。
6. 発表資料:事前に当会事務局へメール添付でお送りください。
7. 同一事業所から複数の受講者が参加される場合は、代表者の方に発表をお願いする場合があります。

III. ケーススタディ「BSL2 実験室として必要な設備基準」(第2日目:9月13日(水)午後)

バムサ・環文研研究棟において、「BSL2 実験室」として設定されている施設の点検、目視と聞き取りにより「リスク評価」を行っていただきます。

点検は数名のグループ単位で実施し、その結果は各グループとしてまとめて報告し、全員で意見交換を行うことにより、バイオ実験室における管理運営技術評価能力の向上の一助とします。

IV. 病原体等の輸送に関する講義と実習(第3日目:9月14日(木))

* 講義:病原体等の安全輸送について

病原体等の輸送(運搬)に際して必要な手続き書類と梱包(包装)方法等について講義し、その後、運搬容器と包装材料等を用いる実習を行います。(予防衣等の持参は不要です。)

* 講義:安全キャビネットの清掃・消毒・不衛生な状態と問題点

* デモンストレーション:安全キャビネットの除染方法について

V. 認定試験(第3日目:9月14日(木)午後)

以上

2023年度バイオセーフティ技術講習会 主任管理コース・第25期

カリキュラム

会期 : 2023年9月12日(火)~9月14日(木)、3日間

会場 : イカリ消毒(株)セミナールームD棟2F、カンファレンスホール(C棟4F)、
バムサ・環文研研究棟(バムサ習志野ラボ)1F、2F 実験室

日 時	科 目 等	講師・敬称略
1日目(9/12) イカリ消毒(株) セミナールーム		
8:40- 9:10	受 付	
9:10- 9:20	オリエンテーション	事務局
9:20- 9:25(5)	開講挨拶	主催者代表
9:25- 9:50(25)	ガイダンス・認定更新の制度	前川 秀彰
9:50-11:00(70)	講義1:バイオセーフティの国際的動向	杉山 和良
11:10-12:20(70)	講義2:バイオ実験施設の設計とバイオセーフティ(建築法他)	木場 裕介
12:20-13:10	(昼食休憩)	
13:10-14:20(70)	講義3:遺伝子組換え実験とバイオセーフティ(カルタヘナ法)	前川 秀彰
14:30-15:40(70)	講演:寄生動物の最近のトピックス(仮題)	杉山 広
15:50-16:50(60)	特別講演:「感染症法に基づく病原体等の管理」資料別添	厚労省
16:50-17:20(30)	質疑応答	(受講者)
2日目(9/13) イカリ消毒(株)セミナールーム、カンファレンスホール		
9:00- 9:30	受付(セミナールーム)	
9:30- 9:45	(カンファレンスホールへ移動)	
9:45-12:25(160)	ラウンドディスカッション:バイオセーフティの現場から	(受講者)
12:25-12:40	(セミナールームへ移動)	
12:40-13:30	(昼食休憩)	
13:30-13:45	(カンファレンスホールへ移動)	
13:45-14:05(20)	ケーススタディ(実験室のリスク評価) 方法の説明	前川 秀彰
14:05-14:20(15)	(習志野ラボへ移動)	
14:20-14:50(30)	ケーススタディ:「BSL2 実験室として必要な設備基準」 (現場点検) <グループ単位で実施>	(受講者) 杉浦 金澤・石川 遠藤・矢越
14:50-15:05(15)	(カンファレンスホールへ移動)	
15:05-16:20(75)	ケーススタディ「点検・評価結果発表」<グループごと>	(受講者)
16:20-16:35	(セミナールームへ移動)	
3日目(9/14) イカリ消毒(株)セミナールーム、カンファレンスホール、バムサ習志野ラボ		
9:00- 9:30	受 付(セミナールーム)	
9:30- 9:45	(カンファレンスホールへ移動)	
9:45-10:35(50)	講義4:病原体等の安全輸送について	伊木 繁雄
10:35-12:05(90)	実習:病原体等の安全輸送(梱包方法、書類作成等) <グループ単位で実施>	杉山、伊木 (霜島 正浩)*
12:05-12:20	(セミナールームへ移動)	
12:20-13:10	(昼食休憩)	
13:10-13:25	(カンファレンスホールへ移動)	
13:25-14:05(40)	講義5:安全キャビネットの清掃・消毒・不衛生な状態と問題点	杉浦 彰彦
14:05-14:20(15)	(バムサ習志野ラボへ移動)	
14:20-15:10(50)	デモンストレーション:安全キャビネットの除染方法について	杉浦 彰彦
15:10-16:20(70)	安全キャビネットの簡易検査方法:実習	杉浦 彰彦
16:20-16:35(15)	(セミナールームへ移動)	
16:35-17:35(60)	認定試験	全 員
17:35-17:40(5)	閉講挨拶	主催者

○本予定は、都合により変更される場合があります。ご了承ください。

* 実習担当:(伊木繁雄、杉山和良、霜島正浩、前川秀彰、遠藤美代子、杉浦彰彦、金澤一央、石川みちよ、他)

「ラウンドディスカッション」、「実習」、「ケーススタディ」に関するご案内

本講習会にお申込みいただき、ありがとうございました。

別紙「実施要項」でご案内のとおり、本講習会では標記のプログラムを設けております。

つきましては、それぞれの目的及び方法を改めて下記の通りご案内しますのでご準備並びにプログラムの進行等にご協力くださいますようお願いいたします。

記

I. ラウンドディスカッション：9 月 13 日（水）午前、イカリ消毒（株）カンファレンスホール

1. 目的：バイオセーフティに関する疑問や問題点の解決を図り、情報の共有化を図ることによりバイオセーフティの改善及び発展に資すること。
2. 方式：参加事業所ごと（事業所紹介）とバムサでお願いした若干名（3 名）に口頭発表していただき、それについて参加者全員（助言者を含む）で討論及び意見交換を行う。
3. 発表内容：バイオセーフティに関する以下の項目を参考例として準備していただきます。
 - *バイオセーフティの活動状況（施設紹介等を含み、全項目あるいは項目を選択する。）
管理組織運営体制、施設・設備、規則等、教育、創意工夫、実績など。
 - *バイオセーフティに関する疑問、問題、課題等の提起とその考察及び意見や提案など。
 - *バイオセーフティに関する情報提供、将来展望及び期待することなど。
4. 発表時間：参加事業所ごとに 3 分、お願いした代表の方 3 名、平均 15-20 分間を予定しますが、受講者数により変動する場合があります。
5. 発表方法：原則としてパワーポイントの使用としますが、印刷物の配布あるいは口頭のみでも可とします。
6. 発表資料：当日持参でも差支えありませんが、可能であれば事前に当会事務局へメール添付でお送りください。

II. ケーススタディ：9 月 13 日（水）午後、バムサ環文研研究棟、イカリ消毒（株）カンファレンスホール

1. 目的：バイオセーフティ施設に関わる「リスク評価」の手法等について修得すること。
2. 方法：バムサ習志野実験室（「BSL-2 実験室」）の現場を、目視とヒアリングによって受講者に評価していただきます。評価はグループ単位で行い、「評価表（項目）」及び現場写真を撮影するための「カメラ」等は当日貸与します。個人防護品は持参する必要はありません。
3. 評価結果：評価結果は、グループでまとめて全員に対して発表（現場写真を投影）していただき、助言者を交えて意見交換を行います。

III. 実習：9 月 14 日（木）午前、イカリ消毒（株）カンファレンスホール

1. 目的：国内及び国際規則等に基づく病原体等の安全輸送について徹底を図ること。
2. 方法：実物の運搬容器並びに包装材料及び関係書類を用いて、数名のグループ単位で梱包方法及び書類の書き方などを実習します。なお、本実習では病原体等は使用しませんので個人防護品（予防衣等）は持参する必要はありません。

（バイオメディカルサイエンス研究会）